

# 2023 年度 事業計画書

特定非営利活動法人 出愛いの里福社会

## 1. 所是～作業所の基本方針

- 1) 私たちは、障害のある人の働く力を伸ばし、社会の一員となるよう支援します。
- 2) 私たちは、障害のある人の人権や福祉事業に対する理解を、多くの市民及び団体等と連携を図りながら進めていきます。
- 3) 私たちは、個人又は集団の力量を高めるため、科学と創造の視点を大切にしながら、たゆまぬ学習、研鑽に努めます。
- 4) 私たちは、世界共通の行動目標である SDGS(持続可能な開発目標)に具体的且つ積極的に取り組み、より良い地球環境への実現に貢献します。
- 5) 私たちは、いい形、いい状態の作業所を常に作り続け、次世代にバトンタッチします。

## 2. 概要

- 1)所在地
- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| 第 1 作業所 | 姫路市伊伝居 76 番地の 14        |
| 第 2 作業所 | 姫路市伊伝居 81 番地の 8 平井ビル 1F |
| 第 3 作業所 | 姫路市野里上野町 2 丁目 826 番地の 6 |

### 2)利用者実態

①多機能型(生活介護・就労継続支援B型) 定員 38 名

②性別構成(2023 年 4 月 1 日現在) 単位:人

	男	女	計
生活介護	9	2	11
就労B型	19	9	28
計	28	11	39

第 4 号議案(資料 4)

## ③年齢別構成( 2023年4月1日現在 )

単位:人

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	計
生活介護	0	5	6	0	0	11
就労B	3	16	7	2	0	28
計	3	21	13	2	0	39

※平均年齢 : 生介 29.5 歳 就B 27 歳 全体 28.5 歳

## ④障害支援区分( 2023年4月1日現在 )

単位:人

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
生活介護	0	1	8	1	1	11
就労B	2	6	0	0	0	8
計	2	7	8	1	1	19

※生活介護平均区分 : 4.1

## ⑤障害年金級別状況

単位:人

	1級	2級	計
生活介護	9	1	10
就労B型	4	21	25
計	13	22	35

## 3. 感染症対策の取り組み

利用者の方々と職員を感染症の危険から守り、常に衛生的な環境で活動ができるよう、感染症の発生及びまん延防止のための取り組みとして、以下の通り実施します。

- 1)感染症対策委員会を設置し、事業所における感染症の予防およびまん延の防止のための対策を検討します。
- 2)事業所における感染症の予防およびまん延防止のための指針を整備します。
- 3)職員に対して、定期的な感染症の予防及びまん延防止のための研修および訓練を実施します。

また、事業所独自の取り組みとして、以下の通り感染拡大防止策を継続します。

- 基本的な感染対策の徹底…検温、体調確認、手洗い、手指消毒、除菌、換気等
- IT 機器の活用…オンライン会議・研修、リモートワーク・テレワーク
- 換気対策…全作業所に空気清浄機又は空気清浄機能付きエアコン設置
- ソーシャルディスタンス…1人当たりの居室面積 → 国基準の2倍以上の広さを確保
- 外部来訪者への対応…検温、体調確認、手指消毒の徹底。来訪記録記入。
- マスク着用の考え方…政府は2023年3月13日(金)より個人の判断に委ねる方針である一方、通勤の混雑時や重症化リスクの高い障がい者福祉作業所においては、引き続きマスク着用を推奨(すいしよ)するとの方針です。当所におきましても、同方針通りの措置を講じます。

#### 4. 業務継続の取り組み

障がい福祉サービスは、利用者の方とご家族の生活を支える上で欠かせないものであり、昨今の新型コロナウイルスの大流行や大規模な災害がみられる中、事業所において、感染症・災害発生時に適切な対応を行い、その後も利用者の方々に必要なサービスを継続的に提供できる体制の構築が重要です。そうした観点から、感染症・災害が発生した場合でも、利用者の方々が継続してサービスを利用できるよう、以下の取り組みを実施します。

- 1) 業務継続計画の策定と定期的な見直し
- 2) 職員に対して、業務継続についての周知と必要な研修及び訓練の実施

#### 5. 障がい者虐待防止の取り組み

虐待は障がいのある方の尊厳を傷つける許されない行為です。また、障がいのある方の自立や社会参加をすすめるためにも虐待を防止することが非常に重要です。障がい福祉サービス事業者として権利の主体である福祉サービス利用者の方の人権を守り、絶えず質の高いサービスを提供していくために、虐待防止に向けた取り組みを積極的に実施します。

- 1) 事業所における虐待の防止のための対策を検討する虐待防止委員会を開催します。

##### 第4号議案(資料4)

- 2) 職員に対して虐待の防止のための研修を実施します。また管理者も積極的に外部の研修へ参加します。

## 6. 生活介護事業の取り組み

安心、安全な環境を整備するとともに、良好な面に目を向け個性を伸ばし、生活のリズムを整え、無理なく働く場、居場所、社会参加可能な場を提供します。

●活動内容 … 作業訓練、機能訓練、創作活動、余暇活動等

### 1)健康維持、情緒安定

- ・ADL訓練 … 感染症予防のため、手洗いの仕方を実地指導、反復練習をします。
- ・外出、行事プログラム等 … 感染状況を見据えながら、季節に応じた外出、行事を計画的に再開します。ドライブ外出、ボッチャ参加等
- ・健康管理 … 健康チェック(週1回)、歯科検診(年1回)、予防接種(年1回)、健康診断(隔年実施\_\_共立HP)\_\_西暦偶数年\_\_第1・2作業所、西暦奇数年\_\_第3作業所

### 2)意思決定支援の実施

各種活動に関して、利用者の方自身が自分で選んだり決めたりする機会を設け、“こうしたい”と思う意思を大切にし、自身が思い描く生活を送る事が可能となるように支援をしていきます。

意思決定支援の具体例

- ・外出やレクリエーションの際に、複数の選択肢を提示し、したいと思うものを自分で選び、実行できるようにします。
- ・選択肢を2択や3択にしぼる等、ご本人の状態に合わせて選びやすいように配慮します。
- ・絵カードや写真も利用して、言葉での理解や表出が難しい方についても選択・決定が出来るようにします。
- ・言葉だけでなく、指差しや表情・視線など、その方の伝えやすい方法での意思表示を見逃さずに大切にします。
- ・活動を通してできたことを一緒に喜び、分かち合います。

### 3)プログラムの充実

四季を感じる事ができるような、イベントやメニューに加え、学習等の時間も設け、出愛いの里のプログラムを更に充実させていきます。

## 7. 就労継続支援 B 型の取り組み

地域で当たり前の暮らしをするために、より高い作業工賃を目指します。また働く力が高まった人は、本人の希望に沿って一般就労を支援します。

●社会人としての4つの目標

- 1) 挨拶する。
- 2) 休まない。
- 3) 時間を守る。時は金なり。5分前行動。
- 4) 身だしなみを整える。

●5Sの徹底 … 整理・整頓・清掃・清潔・躰

●平均工賃額推移

2022年度平均作業工賃月額 … 40,030円

**2023年度の取り組み**

1)目標工賃

◆第1段階 → 障害年金+工賃 ≒ 10万円

・障害年金1級(8万1千円) → 月額2.0万円

・障害年金2級(6万6千円) → 月額3.5万円

◆第2段階 → 月額4.5万円

◆第3段階 → 月額5.0万円

2)利用者の方々の働く力の向上のための実践

菅野敦東京学芸大学名誉教授の【働く力を伸ばし・しごとに向かう態度を育成する7Step と5S】の実践を進めていきます。また、年2回以上、職員が実践報告をする場を設け、自分の実践の振り返りや、新たな課題発見の機会を通して、職員の実践力の向上を目指します。

3)更なる営業活動の実施

目標工賃の実現のために、継続して営業活動を行います。特に、今後は施設外就労を充実させるために、現在、受注しているブラシ詰め作業以外の仕事についても任せてもらえるように交渉を進めます。また、新たな施設外就労先を開拓していきます。

4)工賃評価

昨年度に引き続き、労働総時間と作業スキルの評価に加え、職業生活や対人面、仕事への態度といった領域についても評価を実施し、評価結果に基づいて時給を査定させていただきます。

## 8. SDGs(エス・ディー・ジーズ)への取り組み

「Sustainable Development Goals」の略語であり、2015年9月の国連サミットにおいて加盟国197カ国の全会一致で採択された、持続可能でよりよい社会を目指すための国際目標です。全部で17の大きな目標が掲げられており、2030年までに達成することを目指すものです。当法人は本年より、「目標⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、目標⑬気候変動に具体的な対策を」に取り組み、太陽光発電設備導入を通じて脱炭素社会(カーボンニュートラル)の実現に寄与します。

※第3作業所太陽光発電設備整備 … 前年の第3作業所CO2排出量\_\_3,358 kg、今年度は約3.5tのCO2を削減します。またエネルギーコストの削減や災害時の停電が起きた際の非常電源として活用するとともに7年後の2030年に向けて、電気自動車の普及状況を勘案しながら、V2Hシステム(Vehicle to Home)の調査研究を開始します。

## 9.2023年度行事計画(案)

月	行事	月	行事
4月	入所式・事業説明会・外出P	10月	社会見学
5月	洪水避難訓練・外出P	11月	予防接種・歯科検診・外出P
6月	NPO法人定期総会・合同説明会	12月	年末交流会・大掃除・食事会
7月	個別面談	1月	初詣・新年会
8月	健康診断・大掃除・食事会	2月	地震避難訓練
9月	火災避難訓練・外出P	3月	ひめされんまつり・大掃除

※新型コロナウイルス感染状況を見据えながら、慎重に対応していく予定です。

## 10. 特定非営利活動に係る事項

定款の 事業名	事業 内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
障害者総合福祉法に基づく地域活動支援センター事業	—	—	—	—	—	0
障害者総合福祉法に基づく障害福祉サービス事業	障がい者支援センター出愛いの里の運営	通年	法人施設	15人/日	姫路市及び近郊市町の知的障害者 39人	95,780

## 2024 年度事業計画書

### 1) 事業実施の方針

前年度の内容を踏まえ、職場環境を整備して、その発展充実を図る。

### 2) 特定非営利活動に係る事項

定款の 事業名	事業 内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
障害者総合福祉法に基づく地域活動支援センター事業	—	—	—	—	—	0
障害者総合福祉法に基づく障害福祉サービス事業	障がい者支援センター出愛いの里の運営	通年	法人施設	16人/日	姫路市及び近郊市町の知的障害者 40人	96,200